資料1

「バス利用者アンケート調査の結果について」

目次

1. バス利用者アンケート調査の概要.....1
1.1 調査概要.....1
1.2 調査結果.....3
1.2.1 回答者属性.....3
1.2.2 日常における外出.....7
1.2.3 交通手段の利用状況.....12
1.2.4 市内の交通手段の評価.....14
1.2.5 これからの公共交通を維持していくための在り方.....15
1.2.6 その他(自由意見).....16
1.3 調査結果のまとめ.....17

1. バス利用者アンケート調査の概要

1.1 調査概要

(1)調査内容

<table>
<tr><td>調査対象</td><td>安中市内を運行する路線バスおよび乗合タクシーの利用者を対象として実施した。
路線バスについては、バス車内のポスターでアンケート調査の実施を周知し、乗合タクシーについては、車内にアンケート調査票の留め置きを行った。また、安中市広報（5 月 15 日号）においてもアンケート調査の実施を周知した。</td></tr>
<tr><td>回答方法</td><td>調査票用紙あるいは専用 Web サイト</td></tr>
<tr><td>調査期間</td><td>令和 6 年 5 月 8 日（水）～令和 6 年 6 月 14 日（金）　38 日間</td></tr>
<tr><td>調査内容</td><td>
<table>
<tr><th>分類</th><th>項　目</th></tr>
<tr><td>回答者属性</td><td>○性別、年齢、居住地
○職業
○自動車運転免許証
○普段利用している車両
○無理なく歩ける距離
○外出支援制度の受給状況
○送迎可能な同居家族の有無</td></tr>
<tr><td>日常生活における外出について</td><td>○日頃の外出頻度（通勤・通学、買物、通院）
○外出に困っていることの有無
○行きたいけど行けない場所の有無</td></tr>
<tr><td>交通手段の利用状況</td><td>○路線バス・乗合タクシーを利用する理由
○路線バス・乗合タクシーの利用頻度</td></tr>
<tr><td>市内の交通手段の評価</td><td>○市内の路線バスに対する各項目の満足度
○市内の乗合タクシー（デマンド運行）に対する各項目の満足度</td></tr>
<tr><td>維持に係る費用負担の在り方</td><td>○公共交通維持に係る費用負担の在り方
○利便性の高い公共交通を維持していくために取り組むべき事項</td></tr>
<tr><td>自由意見</td><td>○公共交通に関する意見や要望</td></tr>
</table>
</td></tr>
</table>

(2)回答状況

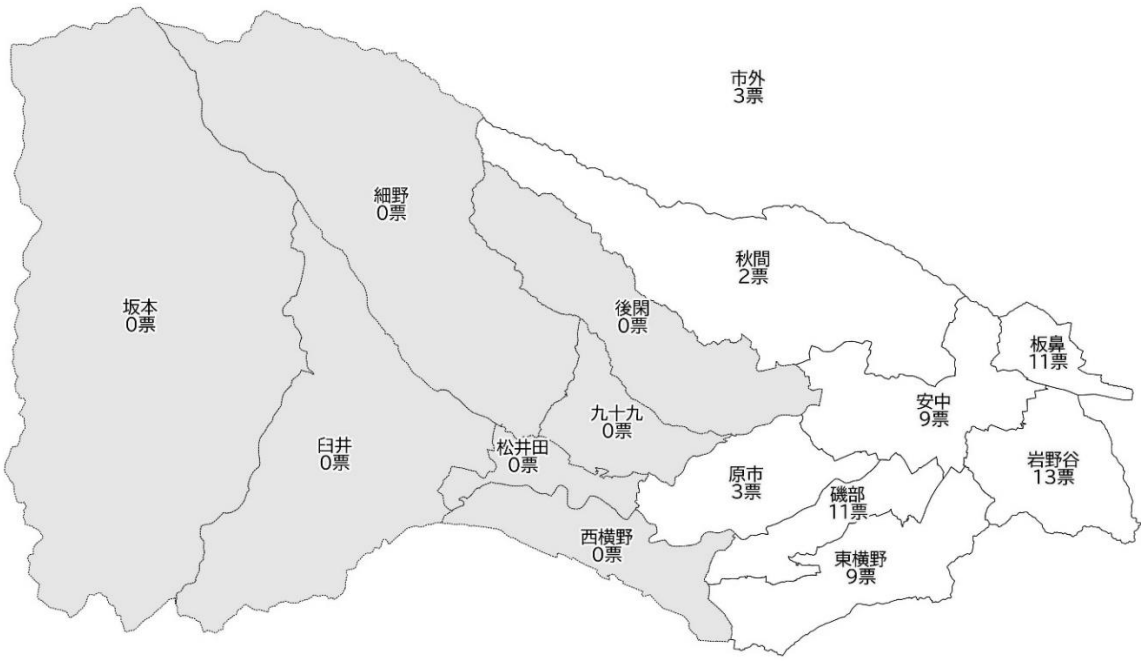
バス利用者アンケート調査の回答状況については、全体で61票（紙調査票：52票、WEB：9票）の回答であった。

■地区別回答者数一覧

地域	地区	地区別人口	回収数		
			紙調査票	WEB	合計
安中	安中	11,708	7	2	9
	原市	11,164	2	1	3
	磯部	5,049	11	0	11
	東横野	3,341	8	1	9
	岩野谷	2,684	12	1	13
	板鼻	3,996	10	1	11
	秋間	3,099	1	1	2
	後閑	1,734	0	0	0
松井田	松井田	2,363	0	0	0
	臼井	1,160	0	0	0
	坂本	550	0	0	0
	西横野	5,148	0	0	0
	九十九	1,341	0	0	0
	細野	1,570	0	0	0
―	市街	―	1	2	3
―	地区不明	―	0	0	0
-	合計	54,907	52	9	61

※地区別人口は令和2年国勢調査

■回答者の居住地

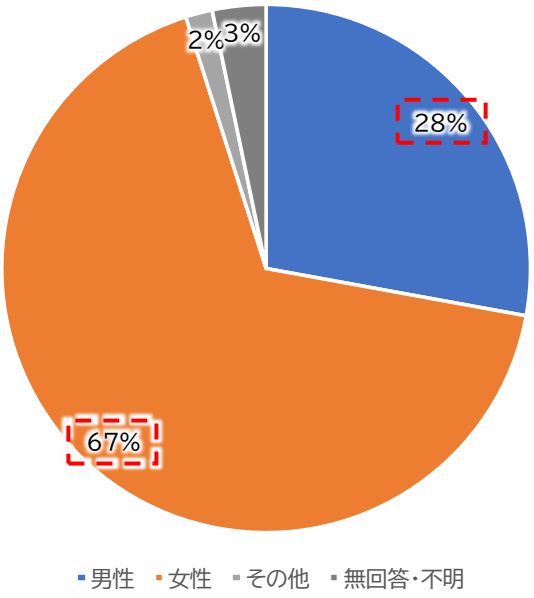


1.2 調査結果

1.2.1 回答者属性

(1)性別

✓ 回答者の性別については、「男性」が 28%、「女性」が 67%となっており、女性の割合が多くなっている。



回答票数：61

(2)年齢

✓ 回答者の年齢層については、「75 歳以上」が 48%で最も多く、次いで「70～74 歳」が 16%となっている。

年代	人数	割合
10歳代	1	2%
20歳代	2	3%
30歳代	0	0%
40歳代	3	5%
50歳代	5	8%
60～64歳	4	7%
65～69歳	3	5%
70～74歳	10	16%
75歳以上	29	48%
無回答・不明	4	7%
合計	61	100%

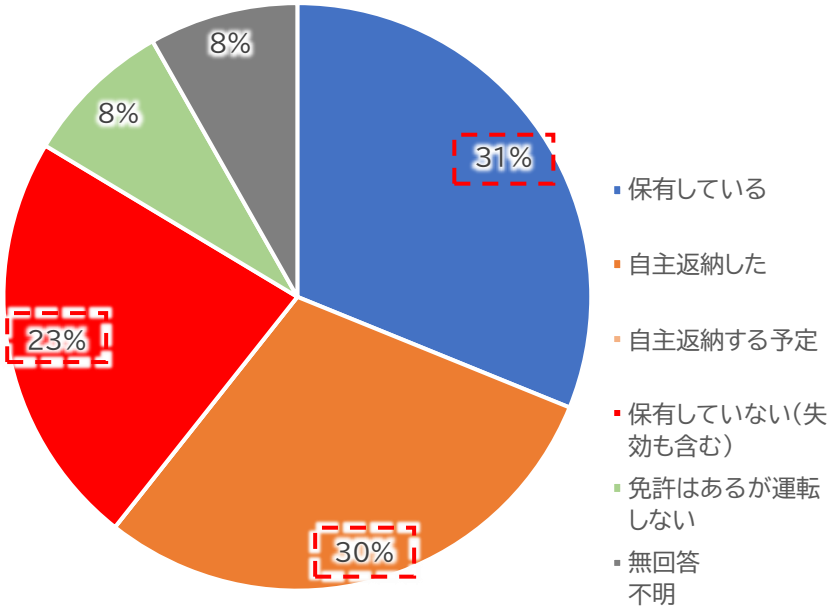
(3)職業等

✓ 回答者の職業等については、「無職」が 57%で最も多く、次いで「家事専従」が 15%、「会社員・団体職員（常勤)」が 13%、「パート・アルバイト・内職」が 11%となっている。

職業	人数	割合
会社員･団体職員(常勤)	8	13%
パート･アルバイト･内職	7	11%
自営業(農林水産業)	0	0%
自営業(商工業)	0	0%
公務員	0	0%
家事専従	9	15%
中学生	0	0%
高校生	0	0%
大学生	0	0%
無職	35	57%
その他	1	2%
無回答･不明	1	2%
合計	61	100%

(4)自動車運転免許証の保有状況

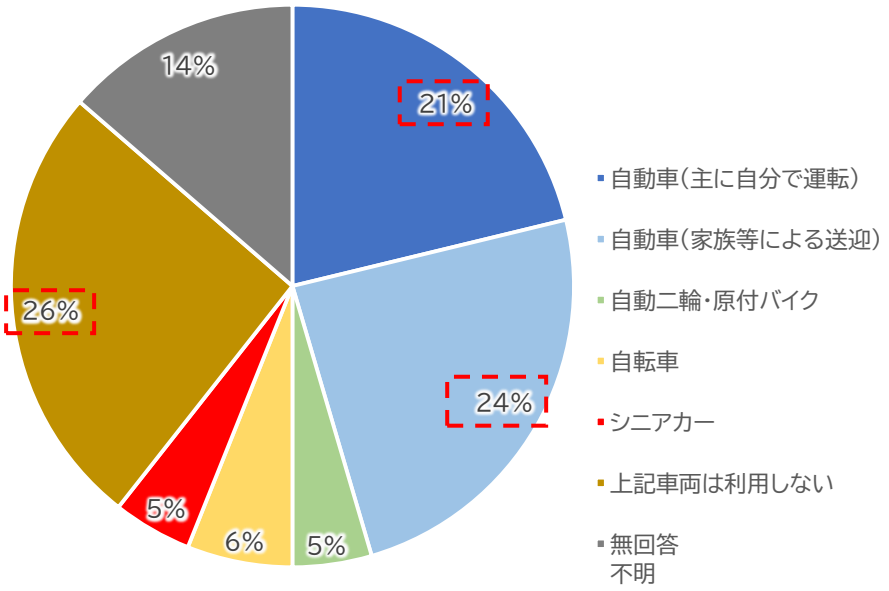
✓ 回答者の自動車運転免許証の保有状況については、「保有している」が 31%で最も多く、次いで「自主返納した」が 30%、「保有していない(失効も含む)」が 23%となっている。



回答票数：61

(5)普段利用している車両

✓ 普段利用している車両については、「上記車両は利用しない」が 26%で最も多く、次いで「自動車（家族等による送迎)」が 24%、「自動車」が 21%となっている。

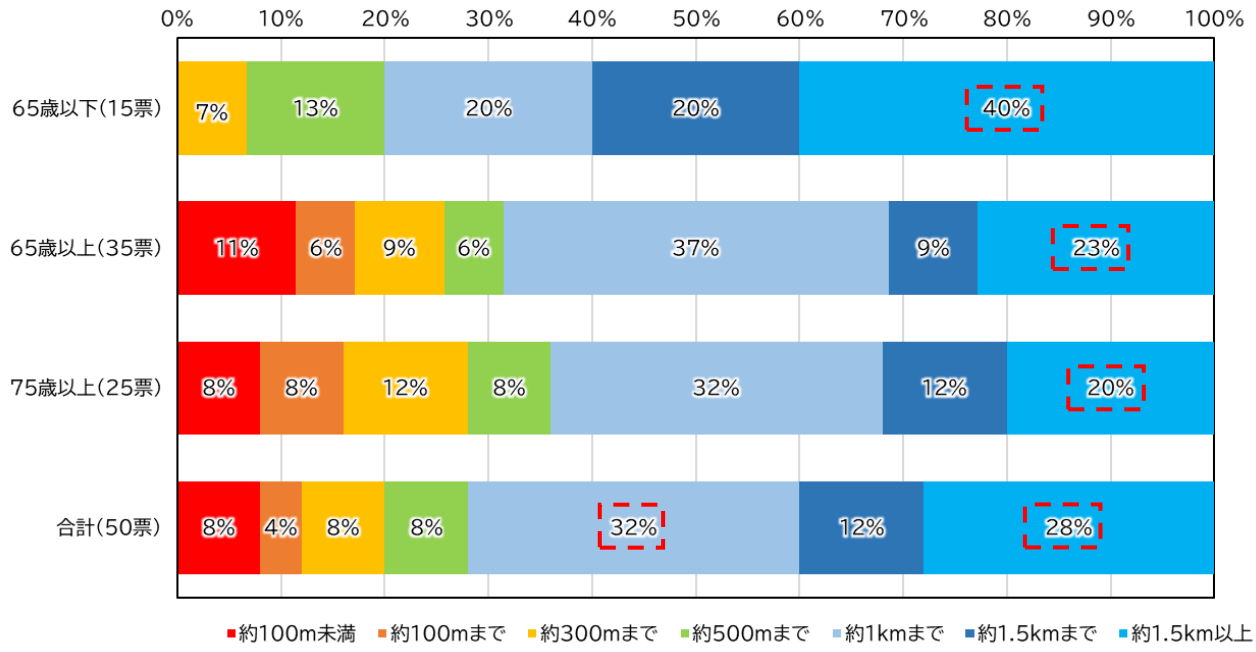


回答票数：66 ※複数回答

(6)無理なく歩ける距離

✓ 無理なく歩ける距離については、全年齢合計での割合をみると、「約 1km まで」が 32%で最も多く、次いで「約 1.5km 以上」が 28%となっている。

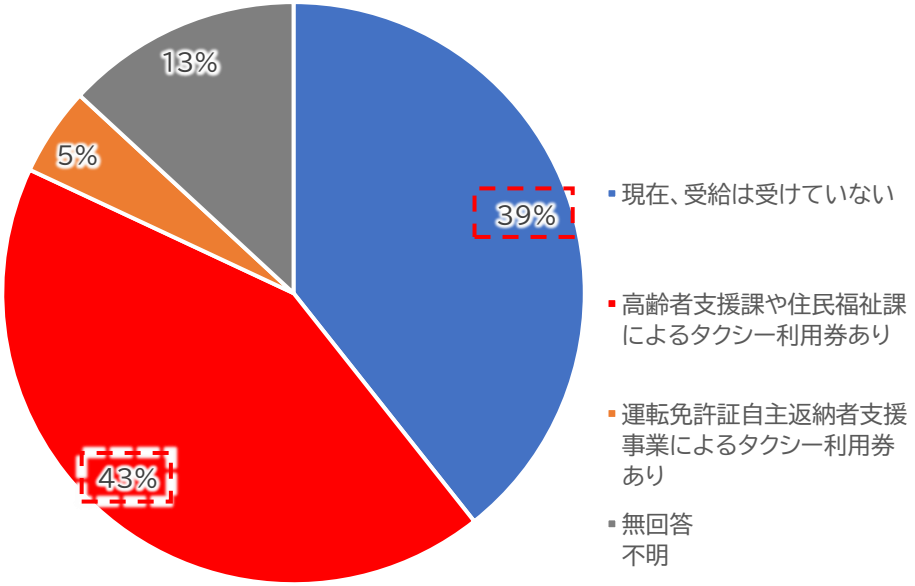
✓ 高齢になるほど、無理なく歩ける距離は短くなる傾向にあり、「約 1.5km 以上」と回答した方は 65 歳以下では 40%であるのに対し、65 歳以上では 23%、75 歳以上では 20%となっている。



※無回答・不明を除いて集計

(7)安中市の外出支援制度の受給状況

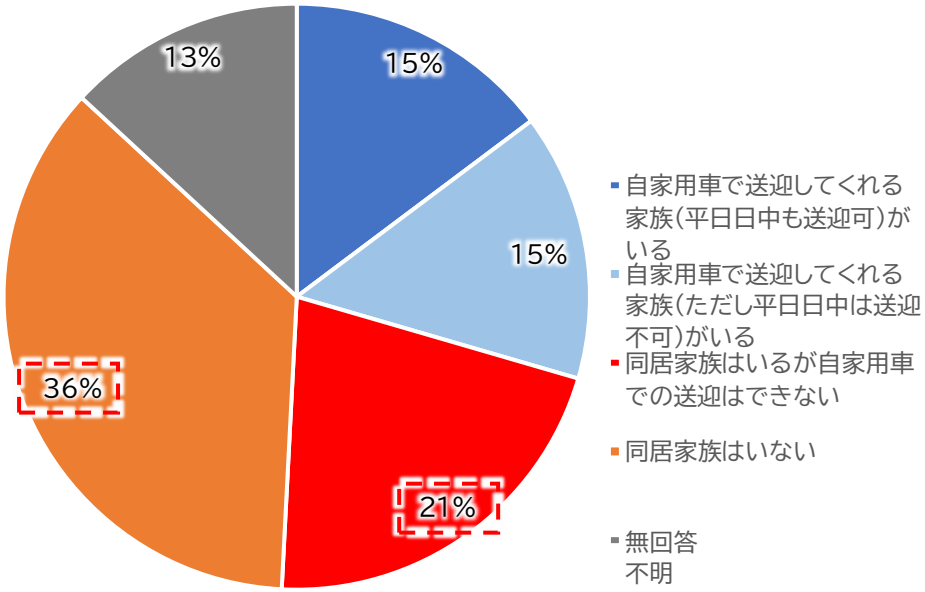
✓ 安中市の外出支援制度の受給状況については、「高齢者支援課や住民福祉課によるタクシー利用券あり」が 43%で最も多く、次いで「現在、受給は受けていない」が 39%となっている。



回答票数：61

(8)同居家族による送迎

✓ 同居の家族による送迎については、「同居家族はいない」が 36%と最も多く、次いで「同居家族はいるが自家用車での送迎はできない」が 21%となっている。



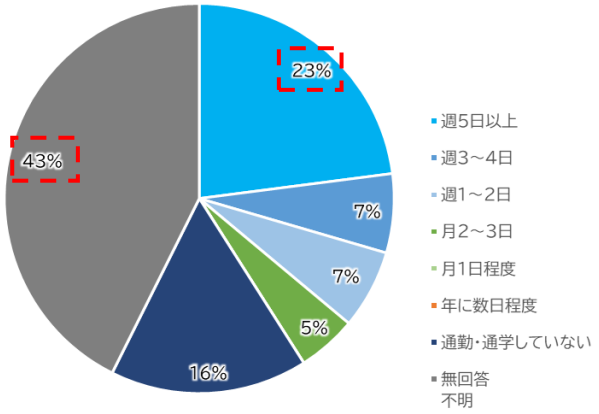
回答票数:61

1.2.2 日常における外出

(1)外出頻度

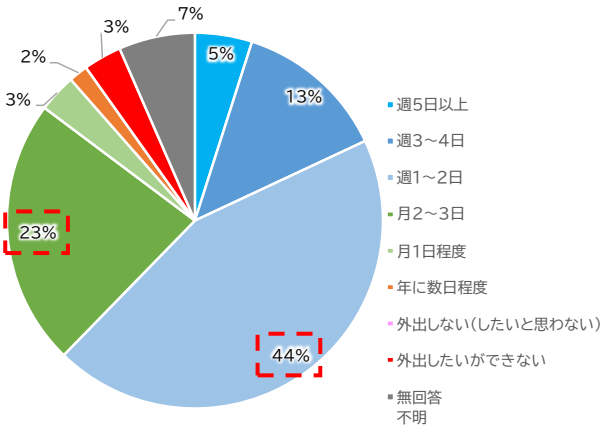
- ✓ 通勤通学の頻度については、「無回答・不明」が 43%で最も多く、次いで、「週 5 日以上」が 23%となっている。
- ✓ 日常生活における買物の頻度については、「週 1～2 日」が 44%で最も多く、次いで、「月 2～3 日」が 23%となっている。
- ✓ 定期的な通院の頻度については、「月 1 日程度」が 26%で最も多く、次いで、「月 2～3 日程度」が 18%、「年に数日程度」が 15%となっている。

【通勤・通学】



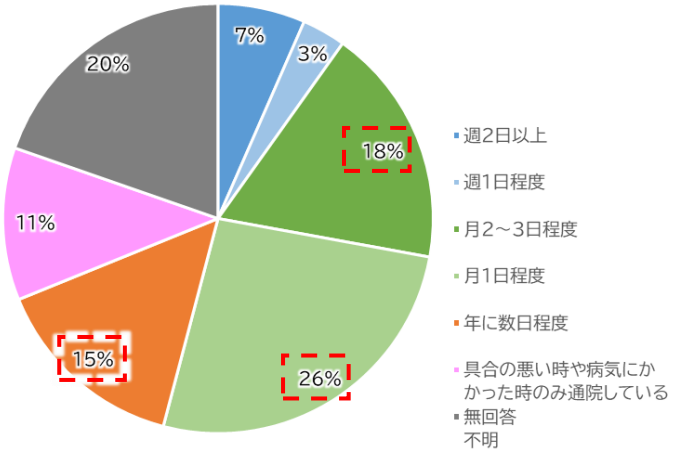
回答票数：61

【買物】



回答票数：61

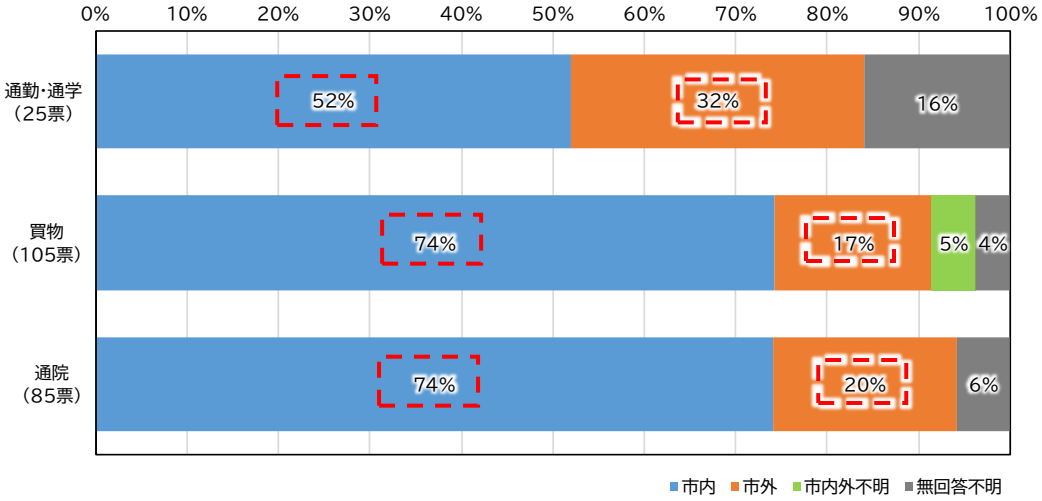
【通院】



回答票数：61

(2)主な外出先（市内・市外の別）

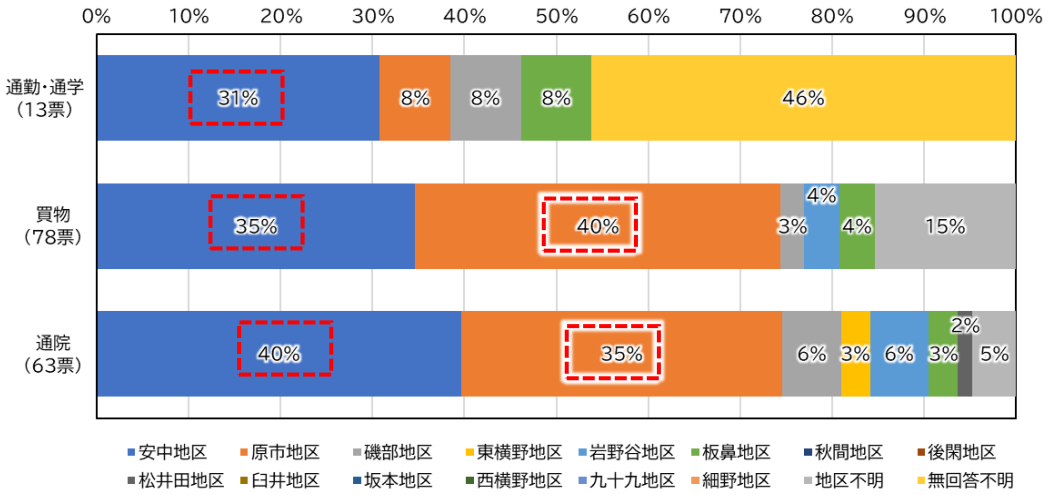
- ✓ 通勤通学先については、「市内」が 52%、「市外」が 32%となっている。
- ✓ 主な買物先については、「市内」が 74%、「市外」が 17%となっている。
- ✓ 主な通院先については、「市内」が 74%、「市外」が 20%となっている。



※買物、通院は複数回答

(3)主な外出先（市内の地区）

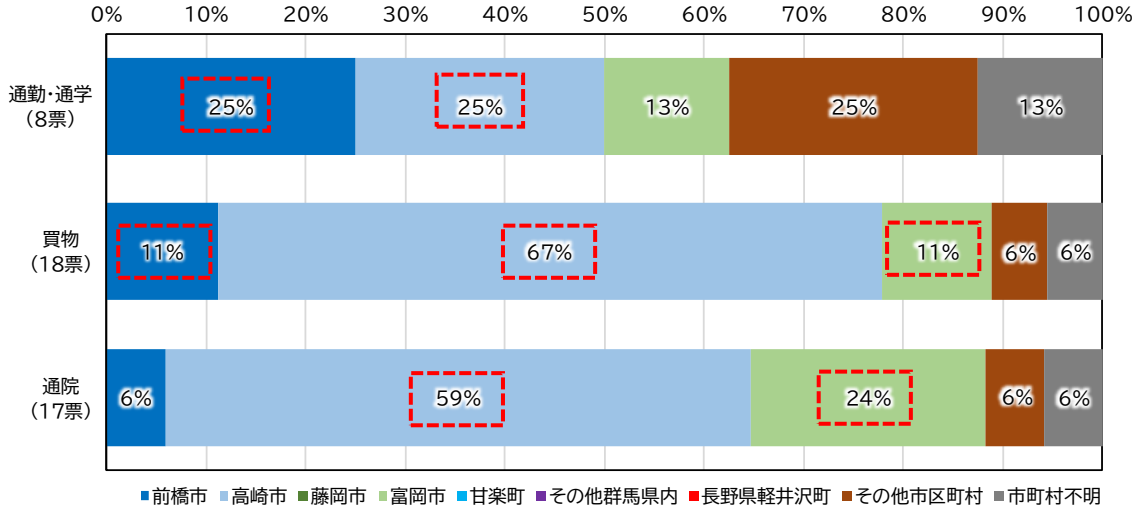
- ✓ 安中市内での通勤・通学先については、「安中地区」が 31%となっている。
- ✓ 安中市内での主な買物先については、「原市地区」が 40%で最も多く、次いで「安中地区」が 35%となっている。
- ✓ 安中市内での主な通院先については、「安中地区」が 40%で最も多く、次いで「原市地区」が 35%となっている。



※買物、通院は複数回答

(4)主な外出先（市外の地区）

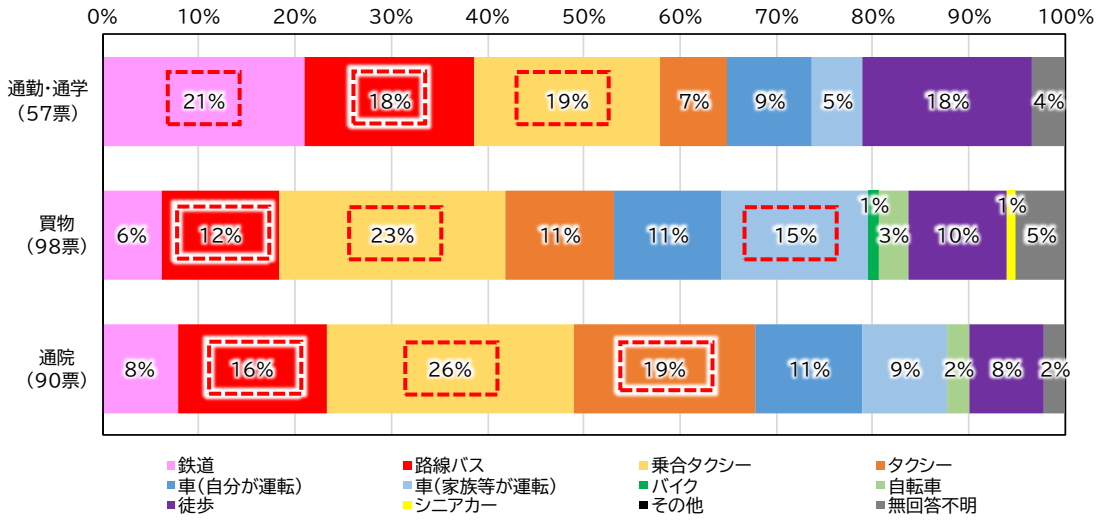
- ✓ 安中市外の通勤・通学先については、「前橋市」、「高崎市」が 25%で最も多く、次いで「富岡市」が 13%となっている。
- ✓ 安中市外の主な買物先については、「高崎市」が 67%で最も多く、次いで「前橋市」、「富岡市」が 11%となっている。
- ✓ 安中市外の主な通院先については、「高崎市」が 59%で最も多く、次いで「富岡市」が 24%となっている。



※買物、通院は複数回答

(5)外出時の交通手段

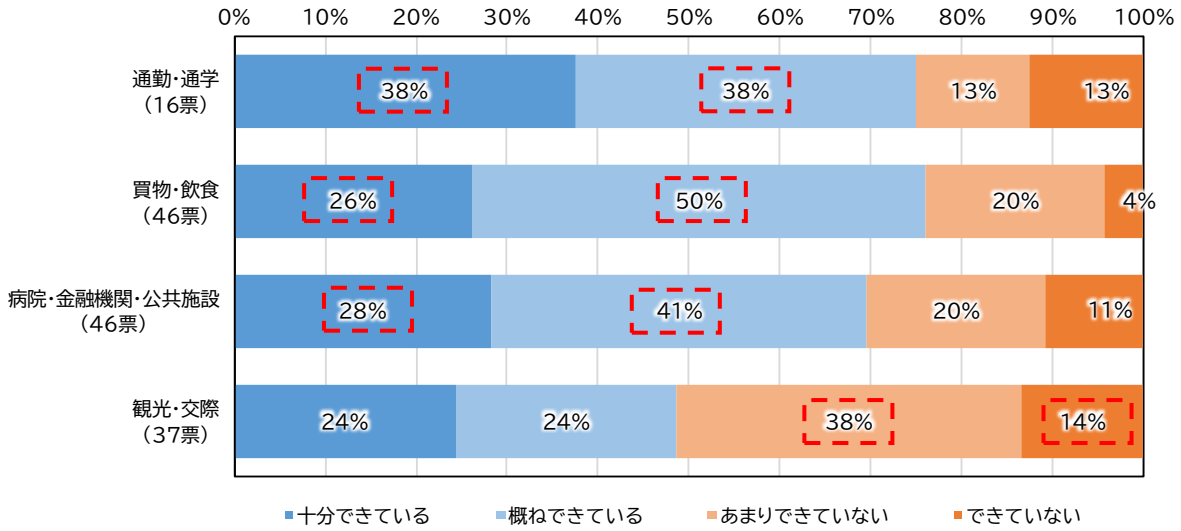
- ✓ 通勤・通学先への交通手段については、「鉄道」が 21%で最も多く、次いで「乗合タクシー」が 19%、「路線バス」が 18%となっている。
- ✓ 買物先への交通手段については、「乗合タクシー」が 23%で最も多く、次いで「車（家族等が運転)」が 15%、「路線バス」が 12%となっている。
- ✓ 通院先への交通手段については、「乗合タクシー」が 26%で最も多く、次いで「タクシー」が 19%、「路線バス」が 16%となっている。



※複数回答

(6)外出に対する評価

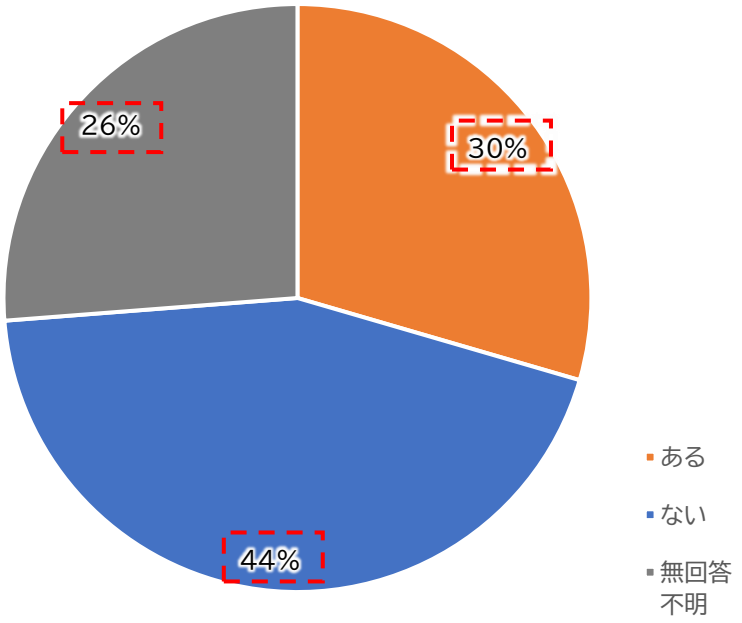
- ✓ 通勤・通学での外出については、「十分できている」、「概ねできている」がそれぞれ 38%で合計 76%となっており、「あまりできていない」「できていない」の合計よりも多くなっている。
- ✓ 買物・飲食での外出については、「十分できている」が 26%、「概ねできている」が 50%で合計 76%となっており、「あまりできていない」、「できていない」の合計よりも多くなっている。
- ✓ 病院・金融機関・公共施設への外出については、「十分できている」が 28%、「概ねできている」が 41%で合計 69%となっており、「あまりできていない」、「できていない」の合計よりも多くなっている。
- ✓ 観光・交際での外出の状況については、「あまりできていない」が 38%、「できていない」が 14%で合計 52%となっており、「十分できている」、「概ねできている」の合計よりも多くなっている。



※無回答・不明を除いて集計

(7)交通手段がなく行けない場所の有無

✓ 安中市内で移動手段がなく行けない場所の有無については、全地区合計の割合をみると、「ない」が 44%、「ある」が 30%、無回答・不明」が 26%となっている。



回答票数：61

(8)交通手段がなく行けない地区と行きたい頻度

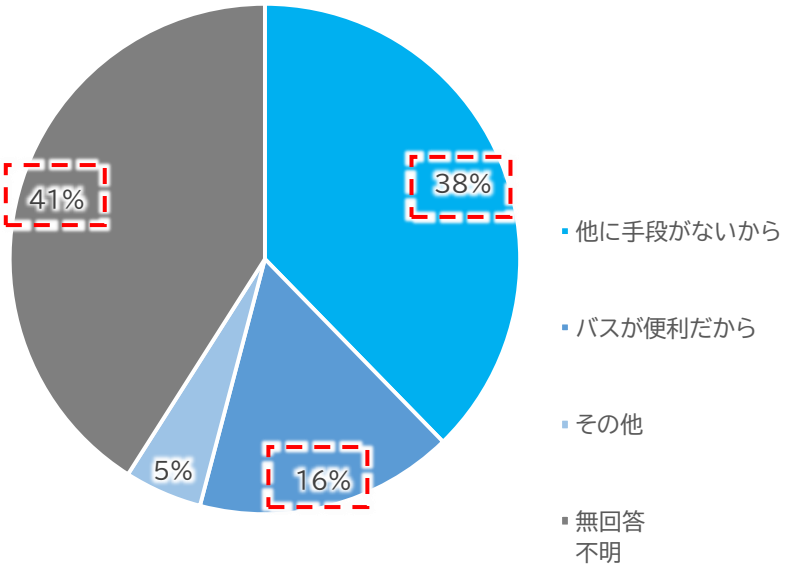
✓ 交通手段がなく行けない地区としては、「安中地区」、「原市地区」、「東横野地区」、「松井田地区」、「臼井地区」、「坂本地区」が挙げられており、「安中地区」への来訪を希望する票数が他の地区に比べて若干多くなっている。

行きたい地区	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	月1日程度	年に数日程度	無回答不明	合計
安中地区	0	0	3	2	2	1	0	8
原市地区	0	0	1	0	0	0	0	1
磯部地区	0	0	0	0	0	0	0	0
東横野地区	0	0	1	0	0	1	0	2
岩野谷地区	0	0	0	0	0	0	0	0
板鼻地区	0	0	0	0	0	0	0	0
秋間地区	0	0	0	0	0	0	0	0
後閑地区	0	0	0	0	0	0	0	0
松井田地区	0	0	0	0	1	1	0	2
臼井地区	0	0	0	0	1	0	0	1
坂本地区	0	0	0	0	1	0	0	1
西横野地区	0	0	0	0	0	0	0	0
九十九地区	0	0	0	0	0	0	0	0
細野地区	0	0	0	0	0	0	0	0
地区不明	0	0	7	5	2	0	25	39
合計	0	0	12	7	7	3	25	54

1.2.3 交通手段の利用状況

(1)路線バス(定時定路線運行)の利用理由

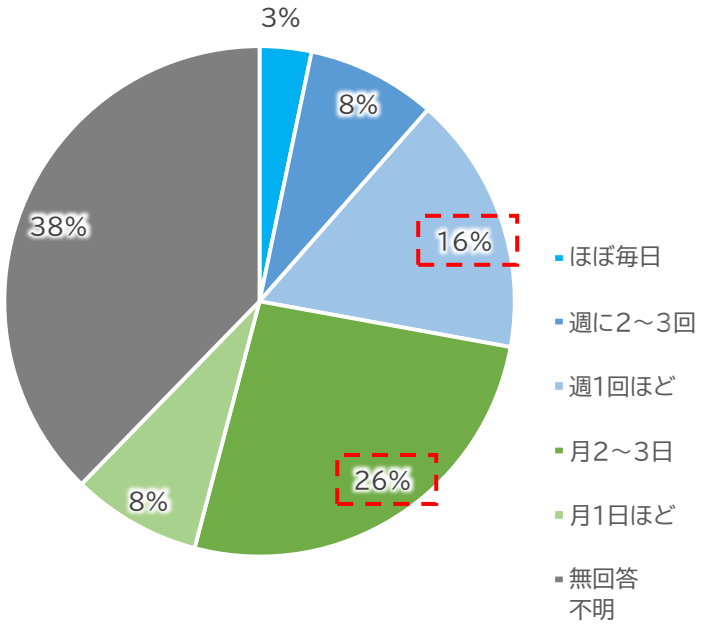
✓ 路線バス(定時定路線運行)の利用理由については、「無回答・不明」が 41%で最も多く、次いで「他に手段がないから」が 38%、「バスが便利だから」が 16%となっている。



回答票数：61

(2)路線バス(定時定路線運行)の利用頻度

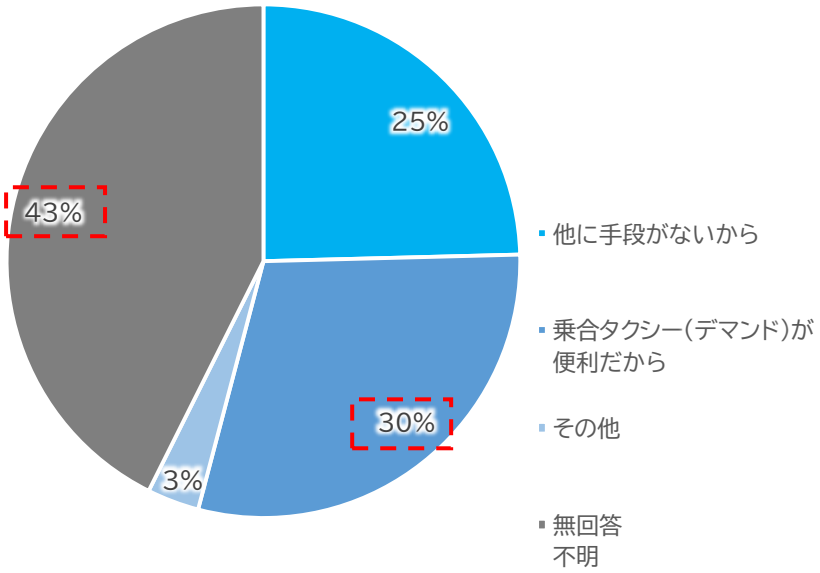
✓ 路線バス(定時定路線運行)の利用頻度については、「月 2～3 日」が 26%で最も多く、次いで「週 1 回ほど」が 16%となっている。



回答票数：61

(3)乗合タクシー(デマンド運行)の利用理由

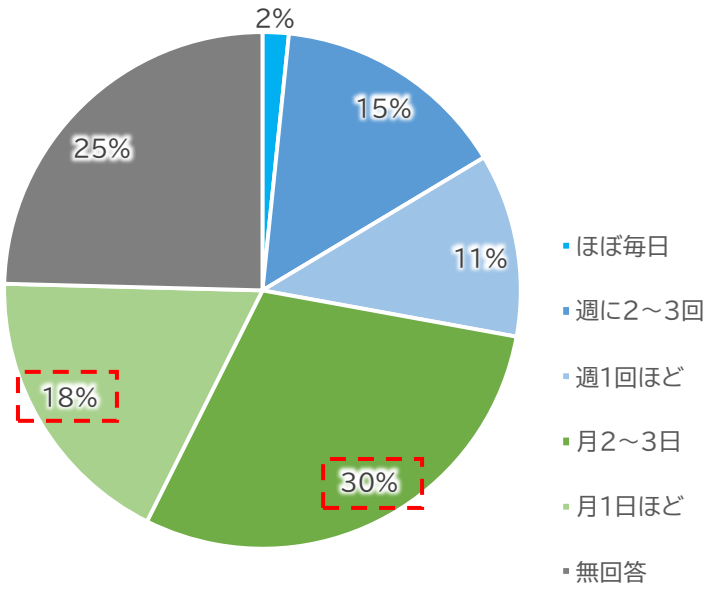
✓ 乗合タクシー(デマンド運行)の利用理由については、「無回答不明」が 43%で最も多く、次いで「乗合タクシー（デマンド運行）が便利だから」が 30%となっている。



回答票数：61

(4)乗合タクシー(デマンド運行)の利用頻度

✓ 乗合タクシー(デマンド運行)の利用頻度については、「月 2～3 日」が 30%で最も多く、次いで「月 1 回ほど」が 18%となっている。

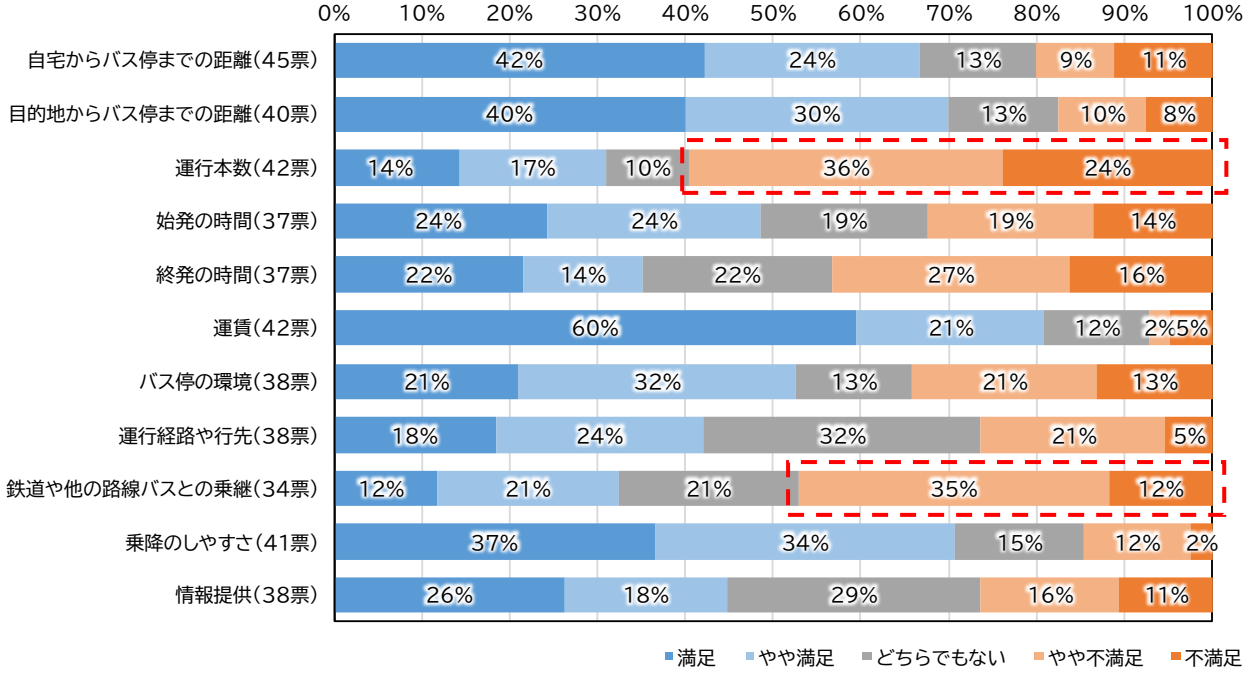


回答票数：61

1.2.4 市内の交通手段の評価

(1)路線バス(定時定路線運行)満足度

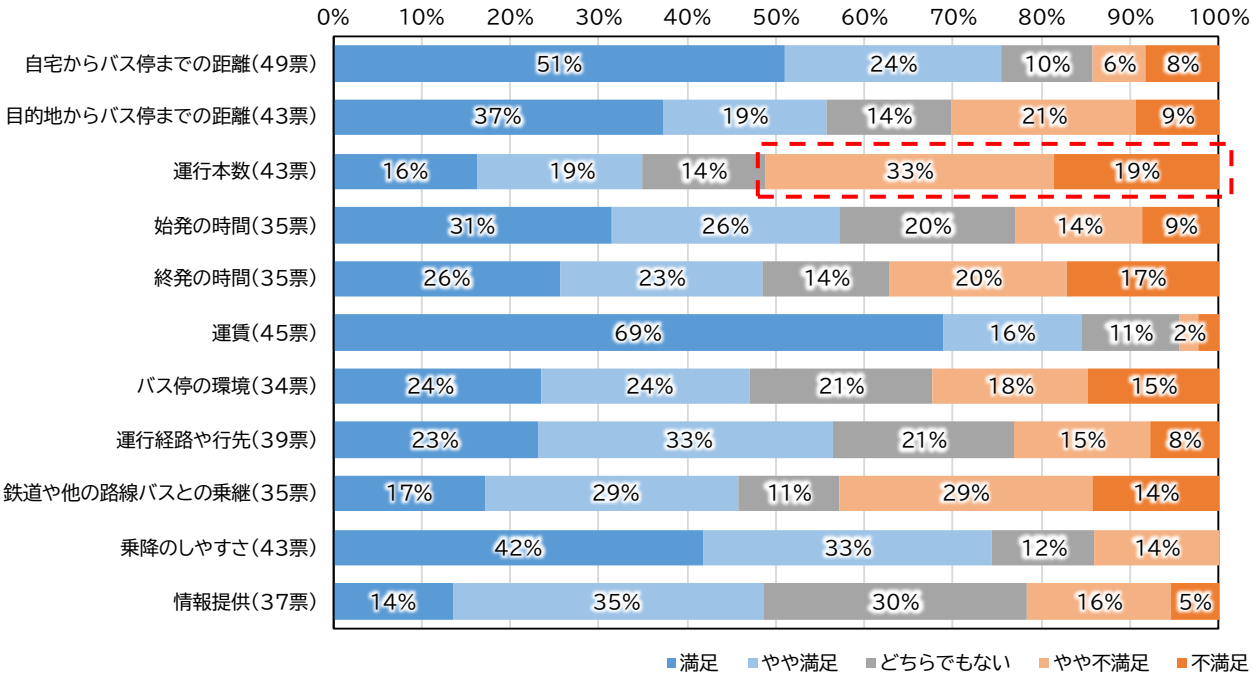
✓ 路線バス(定時定路線運行)の満足度については、「運行本数」、「鉄道や他の路線バスとの乗継」が「やや不満足」、「不満足」の割合が高くなっている。



※わからない、無回答・不明を除いて集計

(2)乗合タクシー(デマンド運行)満足度

✓ 乗合タクシー(デマンド運行)の満足度については、「運行本数」が「やや不満足」、「不満足」の割合が高くなっている。

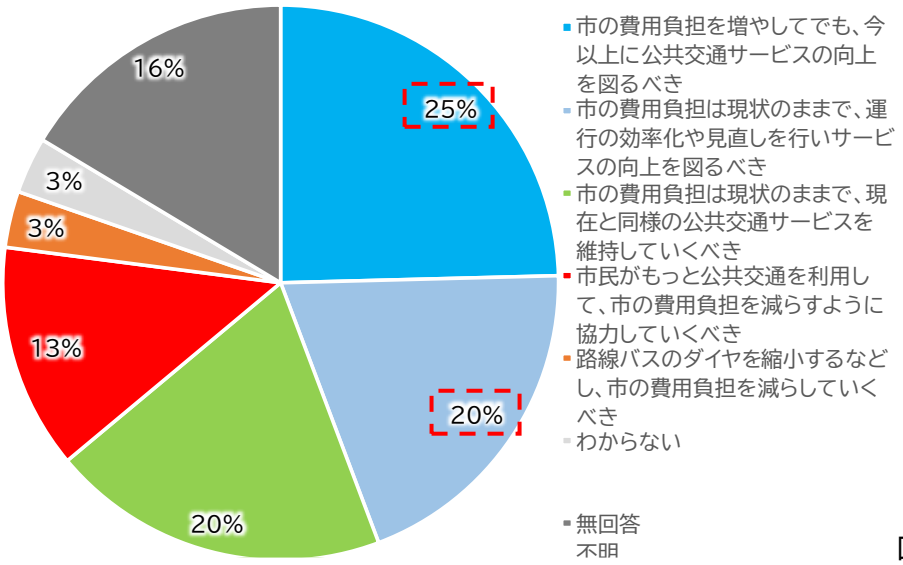


※わからない、無回答・不明を除いて集計

1.2.5 これからの公共交通を維持していくための在り方

(1)費用負担の在り方

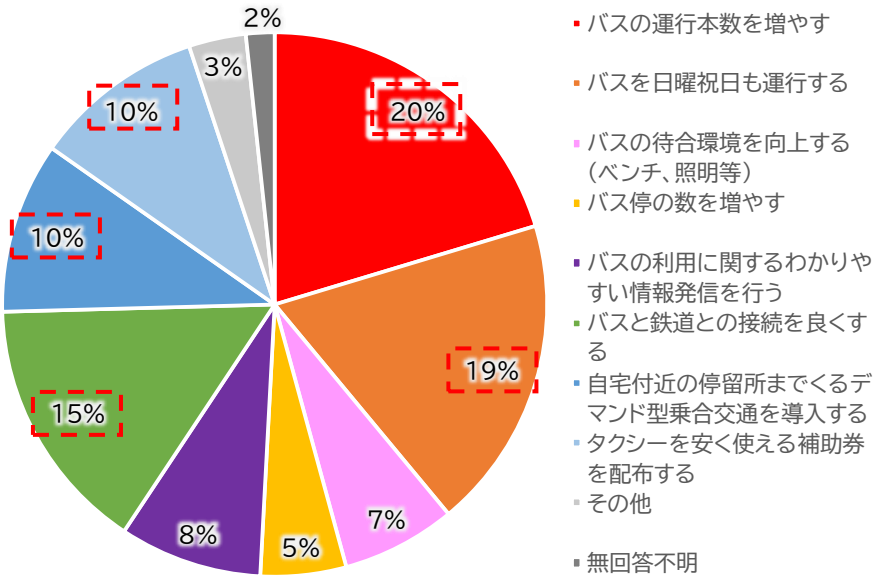
✓ 公共交通を維持していくための費用負担の在り方については、「市の費用負担を増やしてでも、今以上に公共交通サービスの向上を図るべき」が 25%で最も多く、次いで「市の費用負担は現状のままで、運行の効率化や見直しを行いサービスの向上を図るべき」が 20%となっており、公共交通サービスの向上を求める意見が約半数を占めている。



回答票数：61

(2)利便性の高い公共交通を維持していくために取り組むべき内容

✓ 利便性の高い公共交通を維持していくために取り組むべき内容については、「バスの運行本数を増やす」が 20%で最も多く、次いで「バスを日曜祝日も運行する」が 19%、「バスと鉄道との接続を良くする」が 15%、「自宅付近の停留所までくるデマンド型乗合交通を導入する」、「タクシーを安く使える補助券を配布する」が 10%となっている。



回答票数：59※複数回答

1.2.6 その他（自由意見）

✓ 自由意見について回答内容を集約すると、最も多いのは「運行サービス(運行本数・運行時間・運行ルート等)の改善」で 28%となっており、次いで多いのは「路線バス・乗合タクシーの継続要望」で 26%となっている。

主な自由意見の分類	意見数 ※複数回答	割合
路線バス・乗合タクシーの継続要望	10	26%
運行サービス(運行本数・運行時間・運行ルート等)の改善	11	28%
鉄道との接続の改善	2	5%
予約手続きへの抵抗	2	5%
運賃への不満・改善	3	8%
バス待ち環境の充実	1	3%
公共交通に関する情報提供の充実	1	3%
公共交通の利用促進策の充実	1	3%
タクシー補助の充実	1	3%
交通弱者(子ども・高齢者)への懸念	3	8%
その他	4	10%
合計	39	100%

1.3 調査結果のまとめ

分類	まとめ
回答者属性	● 回答者の年齢は「75 歳以上」が 48%で最も多い。 ● 運転免許証を「保有している」が 31%、「今後自主返納する予定」が 30%、「保有していない」が 23%となっている。普段利用する車両は、「家族による送迎」が 24%で「車両は利用しない」が 26%となっている。 ● 無理なく歩ける距離は、「約 1km まで」が最も多く、年齢が高くなるにつれて、短い距離を回答する方が多い傾向にある。
日常生活における外出について	● 主な外出先については、約 5～7 割（通勤通学 52%、買物 74%、通院 74%）が市内の地域になっている。 ● 外出時の交通手段は、通勤・通学、買物、通院のいずれの目的についても公共交通（鉄道、路線バス、乗合タクシー）を利用する方が半数以上を占めている。 ● 外出に対する評価については、目的を問わず「十分できている」、「概ねできている」と回答した方が約 7～8 割となっているが、「観光・交際」目的では「あまりできていない」、「できていない」と回答した方が他の目的に比べて多い。
交通手段の利用状況	● 路線バスを利用する理由として「便利だから」と回答した方は 2 割未満と少ないが乗合タクシーに対しては約 3 割の方が「便利だから」と回答している。 ● 路線バスの利用頻度は「週 1 回」、「月に 2～3 日」と回答した方が多く、合計で約 4 割となっている。乗合タクシーの利用頻度は「月に 2～3 日」、「月に 1 日ほど」と回答した方が多く、合計で約 5 割を占めている。
市内の交通手段の評価	● 路線バスに対しては「運行本数」、「鉄道や他の路線バスとの乗継」について「やや不満足」、「不満足」と回答した方が多い。 ● 乗合タクシーに対しては「運行本数」について「やや不満足」、「不満足」と回答した方が多い。
公共交通の維持に係る費用負担の在り方	● 公共交通の維持に関しては、サービス向上を求める意見が約 5 割を占めている。
自由意見	● 自由意見としては、「運行サービス（運行本数・運行時間・運行ルート等）の改善」、が最も多く、次いで「路線バス・乗合タクシーの継続要望」に関する意見が多くなっている。